

岸 総 広 第 189 号
令和 4 年 12 月 22 日

『華の会』

共同代表 西出 秋雄 様
木村 元廣 様
事務局長 西村 智子 様

岸和田市長 永野 耕平

市長さん・教育長さんへの要望書について（回答）

2022 年 12 月 2 日付で提出のありました要望書につきまして、下記のとおり回答します。

記

回答

- 1 上記の「実施計画案」については、子どもの希望と地域の明るい未来のためにじっくりと時間をかけ、市長自らが多様な市民の声に耳を傾ける姿勢が必要ではないでしょうか。
市民と行政の合意が整うまでは実施計画案をいったん凍結していただけませんか。

【回答：学校適正配置推進課】

全国的な少子化の進展により、今後さらなる学校の小規模化が進むことから、将来の子どもたちにより良い教育を保障する上で、適正規模・適正配置の取組は避けて通れないものと考えています。

引き続き、地域住民等のご意見を十分にお聞きしながら、「岸和田市立小・中学校適正規模及び適正配置実施計画（第 1 期）（案）」の成案化をめざします。

- 2 子どもたちが明るく育つまちを、市民のだれもが「元気なまち」になります。
「子育て支援施策・日本一の岸和田市」を、市民と行政の協働でつくっていきませんか。
（1）市が進めようとする子育て施策の重点課題を具体的に教えていただけませんか。
＊ 先進都市では、小規模学校の良さを生かした充実策、自治体独自の少人数学級の実施、

18歳までの子ども医療費の無料化、学校給食の無償化、満1歳までのおむつの無償支給、第2子以降の保育料の無料化、公共施設の利用無料化、子ども食堂等の運営支援等々が制度化され全国的に高い評価を受けています。岸和田市でも実施していただきませんか。

【回答：子ども家庭応援部】

まず、一つ目の重点課題として、保育所等における待機児童の解消です。

課題への取り組みとして、施設整備等による量の確保を行い、人材が不足している保育士確保のために、民間園に就職する保育士への給付金の支給や働きやすい職場の実現に向けた取組を実施した民間園への補助金の交付等を行っております。

二つ目の重点課題として、チビッコホーム(学童保育)における待機児童の解消です。

課題への取り組みとして、待機児童が発生している校区に対して、ホームを増設することにより待機児童解消に努めていきます。

三つ目の重点課題として、子ども医療費助成の対象拡大です。

子ども医療費助成につきましては、大阪府内において、18歳到達年度末までの児童に対する助成を行う自治体が年々増加していることを踏まえ、本市においても、制度の拡充を行う必要があると考えており、できるだけ早い時期に対象年齢の拡大ができるように努めていきます。

以上の重点課題を解消することにより、子育てしやすいまちの実現をめざし、長期的には、子育て世帯の定住促進(流入拡大、転出抑制)に繋げたいと考えております。

(2)「より良い就学前施設のあり方」を市民と共に考え合い、幼稚園・保育所の再編計画について再検討していただけないでしょうか。

※ 市では公立の幼稚園・保育所が小学校区を基本に配置され、小学校と連携した幼児教育や障害児保育なども実績を上げてきました。再編計画では公立の就学前施設が6園にまで激減されます。幼・保の関係者や子育て世代の危惧が強まっています。

着手中の前期計画は、成果と課題を市民参画で緻密な検証を必ず実施してください。また、中・後期の再編計画は、いったん凍結していただけないでしょうか。

【回答：こども園推進課】

3次生活圏ごとに原則1箇所の市立認定こども園を設置するとの再編方針に基づき、計画を進めてまいります。なお、子ども・保護者にとって、より良い教育・保育環境の充実を図る観点から、市立認定こども園の機能、市立・民間園の役割等については、今後の社会情勢や保護者ニーズ等を踏まえ、計画期間中に適宜効果検証を行うこととしています。

以上